

あおもり漁連

代表理事長 植村正治書

資源有限漁業無限

No.
138



4月16日平内町土屋地区にオープンした「ほたて広場」

CONTENTS

第46回青森県漁村青壯年女性団体	1
活動実績発表大会	
第10回全国青年・女性漁業者交流大会	1
第16回青森県水産賞表彰式	2
「漁協系統における個人情報保護法」	3
に関する説明会	
資源回復計画に係る漁業者協議会概要	4
北海道とのほたて漁業に関する情報交換会	5
ホタテガイ販売懇談会	6
漁協合併推進状況	7
将来のハマ(漁協)のために!!	
漁協系統購買担当者研修会	8



浜の情報・話題	9
(ほたて広場オープン)	
(県内漁協組合長改選報告)	
(6月18日は「ホタテの日」)	
青森県漁連人事異動	11
水産に関する主な動き(1~3月)	12
県内漁協紹介(舟作・風合瀬漁協)	13

2005 5

21世紀は漁村の時代

第46回

青森県漁村青壮年女性団体活動実績発表大会開催

去る一月十三日、青森市県民福祉プラザにおいて「第四十六回青森県漁村青壮年女性団体活動実績発表大会」が県内漁業関係者ら約二八〇人が出席し、開催された。

同大会は、県内漁村青壮年女性団体の代表者が一堂に会し、活動実績の発表を通して知識の交換と活動意欲の向上を図り、沿岸漁業の振興及び漁村生活改善に寄与することを目的に開催され、本年度は五団体が資源管理や活動の成果等について発表した。

審査の結果、漁業技術部門で三厩村漁業連合研究会の牧野勇次会長、生活改善部門でむつ市漁協婦人部の運上祥子さんが、それぞれ優秀賞を受賞した。

審査結果は次のとおり。

優秀賞 持続的ヒラメ資源利用の先進地を目指して
～ヒラメ資源管理実践事例紹介～
三厩村漁業連合研究会 会長 牧野 勇次

優秀賞

～ゆうパック発送二十年～

むつ市漁業協同組合婦人部 運上 祥子

優良賞

～屋形船で八戸の海を拓く～

～海洋立市の飛躍のために～

八戸みなど漁業協同組合 尾崎 幸弘

優良賞

サクラマス増殖に向けた日本海からの発信～海産親魚飼育試験結果～

追良瀬内水面漁業協同組合 永谷 博之

優良賞

～地域住民との交流拡大を目指して～

青森県漁業士会むつ支部会 理事 秋田 正明

優良賞

「第十回全国青年・女性漁業者交流大会」が、日頃の研究・実践活動の成果を発表するとともに、広く相互の知識や研究を交流し深めることによって、水産業、漁村の発展、活性化のための技術・知識などを研鑽することを目的として開催された。

大会は、全国から五十四グループが参加し、五部門に分かれて発表が行われ、本県からは、第四十六回青森県青壮年女性団体活動実績発表大会で優秀賞を受賞した三厩村漁業連合研究会の牧野勇次会長、むつ市漁業協同組合婦人部の運上祥子さんがそれぞれ実績発表をし、各々全国漁業協同組合連合会会長賞を受賞した。

発表内容は、「持続的ヒラメ資源利用の先進地を目指して～ヒラメ資源管理実践事例紹介～」と題し、牧野会長が漁場造成、標識放流と小型ヒラメの再放流、稚魚放流等組織的な資源管理への取り組みについて述べた。また、運上さんは「陸奥湾ほたてを全国へ～ゆうパック発送二十年～」と題し、食の安全・安心を重視したほどて発送事業について述べた。

第10回

全国青年・女性漁業者交流大会開催

発表する牧野会長

去る三月七日～八日の二日間、東京都虎ノ門パストラルにおいて

「第十回全国青年・女性漁業者交流大会」が、日頃の研究・実践活動



第16回青森県水産賞表彰式

去る1月13日の第46回青森県漁村青壯年女性団体活動実績発表大会において、「第16回青森県水産賞」の表彰式が行われた。

社団法人青森県水産振興会 植村正治会長より、水産に関する試験研究、発明発見、普及指導その他本県の発展に顕著な業績をあげた個人及び団体に対し、水産賞が授与された。

受 賞 者



久保田 永太郎
(大正15年1月4日生)

青森県北津軽郡小泊村
字浜野27-11

独自の工夫改良を重ねた一本釣の名人として、小泊地区のみならず県内外の漁業者からも尊敬されている。また、新しく習得した技術を、ウスメバル漁へ応用することに着目し、現在では「津軽海峡メバル」として組合の鮮魚水揚げの30%を占めるまでの主要魚種へと引き上げた。



大坂 馨

(昭和2年2月7日生)

青森県下北郡佐井村
大字佐井字中道番外地

昭和47年から7年間、漁協の理事として漁協経営に携わり、この間優れた発言力と指導力で組合長を補佐してきた。

近年、問題となっているウニによる磯焼けの対策についても、漁業研究会の試みに積極的に賛同し、漁場管理・資源管理に協力している。



平内町漁業連合研究会東田沢支部
支部長 田中哲也
(昭和44年設立・部員87名)

青森県東津軽郡平内町
大字東田沢字田沢111

昭和44年からホタテ養殖技術の改良や地場ホタテ放流追跡調査等に取り組んでいる。また、平成12年からホタテガイに甚大な被害をもたらすボリドラ生態研究に着手し、第44回青森県漁村青壯年女性団体実績発表大会で本県代表に選出され、全国大会では全漁連会長賞を受賞した。



奥入瀬川鮭鱒増養殖漁業協同組合
代表理事組合長 戸来直治
(昭和38年設立・組合員47)

青森県十和田市大字相坂
字下前河原151-2

さけ親魚の捕獲を始めてから百余年に亘る努力は、平成12年に87,686尾の遡上を確認する結果となって表れ、以後、遡上尾数は県内一を維持している。平成16年度には新たな採卵施設を整備し、より良質な種苗を放流できる体制づくりを目指している。



三沢市漁業協同組合小型船部会女性部
部長 富田玲子
(昭和50年設立・部員23名)

青森県三沢市港町一丁目11番地

「漁家経営の向上」に繋がる貯蓄・共済推進の成果が全国的に認められ、JFマリンバンク全国大会で優良漁協女性部として表彰された。また、地元のホッキガイ、スルメイカ、鮭等の消費拡大を目的とした試食会や料理教室を開催し、地産地消を目指して活動している。



青森県水産賞受賞者記念写真

一漁業系統における個人情報保護法に関する対応について

個人情報とは

去る二月十八日、水産ビルにおいて漁協筆頭職員等約九十人が参加し、講師として全漁連信用・組織経営部の阿部部長代理を迎えて、個人情報保護法及びガイドラインの概要、漁協としての対応についての説明会を開催した。

個人情報保護法については、高度情報通信社会の進展にともない、個人情報に係る厳正な取扱いが必要とされ、個人情報の取扱いルールを法律化した「個人情報の保護に関する法律」が平成十七年四月一日から全面施行されることになったもので、この法律は、過去六ヶ月以内で五〇〇件以上の個人情報を保有する事業者を対象としているものの、漁協系統においては社会的責務として個人情報の適正な取扱いに対応することが必要であり、漁協内の体制整備や、関係規程の制定等が急務となっています。

性・取り組み内容をしつかり理解し、組合員等の個人情報を守ることが責務となります。

○漁協としての対応

漁協では次のような対応が必要となります。

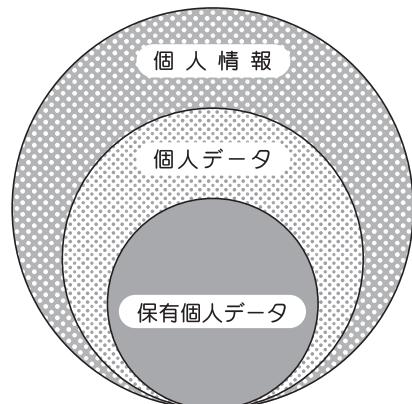
1 保有する個人情報の把握と管理

漁協がどのような個人情報をもっているのか「個人情報取扱台帳」を作成し、情報の把握をする。

また、その情報を誰がどのように管理しているのか等の管理状況及び今後の対応を検討する。

個人情報

生存する個人の氏名、生年月日その他の記述等（他の情報と照合できるものを含む）により特定の個人を識別できるもの



2 体制の構築

漁協の体制を構築するために規程・手続きの整備

- 個人情報方針
- 個人情報取扱規程

保有個人データ

検索できるよう台帳、コンピュータなどにより整理された個人情報

主な概要

○漁協としての責務

個人データの流出により「悪質な商法」や「振り込め詐欺」などの被害に遭い、経済的

・精神的被害を受けたという報道が頻発しております。

漁協からの流出によりこのようなことがあつては、漁協の信用はがた落ちとなり、社会的にも経済的にも大きなダメージを受けます。

そういう意味で役職員が法令導入の必要

3 対外的対応

保護方針の公表と利用目的の明示、開示

・個人情報の開示等に関する手続

・個人情報に係る苦情等対応手続

(例)一枚の名刺は「個人情報」ですが、これをデータベースに入力すると「個人データ」となります。さらに、六ヶ月以上にわたって保有すれば「保有個人データ」となります。

組合員情報や職員の人事管理情報などは「保有個人データ」になります。

平成16年度資源回復計画に係る漁業者協議会概要

1. 資源回復計画

長年の獲り過ぎ等により状況が悪化している資源について、個々バラバラな対応をするのではなく、漁業者関係、県、国が一体となり、必要な対策を計画的、総合的に実施し、資源の回復を図り漁業経営の安定、水産物の安定供給に役立てることを目指す。

2. 協議会内容

地区名	開催場所	開催日	主な検討事項・まとめ
日本海地区	鰺ヶ沢町	H16.10.7 H17.2.28	○資源回復計画の進歩状況について ○広域魚種資源回復計画の候補魚種について ○県単魚種資源回復計画の候補魚種について ○北部日本海海域ハタハタ管理協定について (まとめ) 新たな広域候補魚種は選定しないこととした。 県単候補魚種にウスメバルを検討するも、すでに資源管理に取り組んでいることから候補としなかった。
太平洋地区	むつ市	H16.10.12 H17.2.23	○資源回復計画の進歩状況について ○広域魚種資源回復計画の候補魚種について ○県単魚種資源回復計画の候補魚種について (まとめ) 新たな広域候補魚種は選定しないこととした。 県単候補魚種は選定しないが、ヒラメ及びウスメバルの資源管理は積極的に取り組むこととした。
むつ湾地区	青森市	H16.11.22 H17.2.16	○資源回復計画の進歩状況について ○広域魚種資源回復計画の候補魚種について ○県単魚種資源回復計画の候補魚種について ○マダラ資源回復計画について (まとめ) マダラについては、広域候補魚種にすることとし、北海道に協力してくれるよう、県が国に対し強く働きかけることとした。 県単候補魚種に、ウスメバル、イカナゴを選定した。
青森県 (全体)	青森市	H17.3.22	○資源回復計画の進歩状況について ○地区漁業者協議会概要について (まとめ) 県より、むつ湾のマダラの資源回復計画を作成することが承認され、国が新年度から、正式に計画作成に着手するとの報告があった。

北海道とのほたて漁業に関する情報交換会開催

去る二月十四日、第二回北海道とのほたて漁業に関する情報交換会が青森市（昨年札幌市）で開催された。

会議には、北海道から杉森北海道ほたて漁業振興協会長他八名、青森県から植村青森県漁連会長、三津谷むつ湾漁業振興会長他九名が出席、両者から現状を踏まえた意見が出され有意義な情報交換会となつた。

ほたて漁業の環境としては、十五年度の増産による安値から一転、十六年度は台風や低気圧の被害により噴火湾及びオホーツク海域とも減産、価格は品薄感により値上がり、生産額としては平年以上になつていての状況が報告された。

出席者からは次のような意見が出された

- ・生産量での生産額カバーは悪循環であり、量を抑えて価格を維持したい。
- ・中国産の輸入については警戒すべきである。国内産ボイルが高くなれば輸入量が増える。中国産製品に負けない品質の良い製品づくりが必要である。
- ・活貝、生玉の需要増。才オホーツクでは

生玉が原料価格を引つ張つている。今後も延ばしたい商材である。青森県としては活貝供給不足感があり安定供給が望まれる。

- ・美味しいほたて貝づくりには密殖を避け、良質貝づくりが求められる。
- ・原貝価格の極端な乱高下対策として、加工製品毎の生産量調整を図る必要がある。

- ・生産調整については、北海道側は消費拡大に力点を置いた対策に方向転換、減産対応はないとしている。

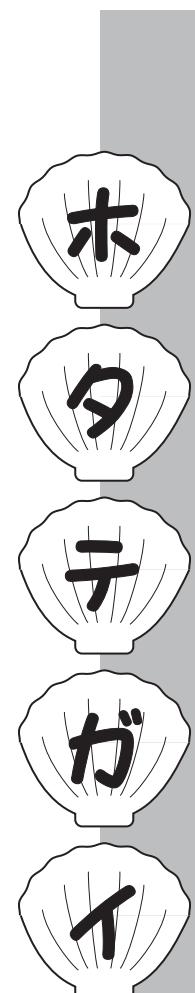
- ・IQ制度堅持では両者一致した。

近年のほたて貝価格は生産量に大きく左右されており、むつ湾ほたて貝の販売では、各地の生産情報等的確に分析し原貝価格に反映出来るよう努めたい。また、他産地や中国産等との競合が更に強くなることが予想されるが、そのためにも、品質の良い「良質ほたて貝」づくりが求められる。

生産者にご理解とご協力を願いし、今後も情報交換会を通じてほたて漁業のあり方について、より良い方向付けが見出されることを期待したい。



挨拶を述べる植村会長



販売懇談会開催

去る三月十六日、県水産ビルにおいて、むつ湾漁業振興会会員十九名、加工業者二十二名が出席のもと、「ホタテガイ販売懇談会」が開催され、平成十七年度のほたて貝取扱見込、半成貝等の養殖状況、加工製品の消流状況等について話し合いがされた。

初めに、後藤県漁連専務、続いて、三津谷むつ湾漁業振興会会長の挨拶の後、川口業務部長の進行により進められた。

最近の養殖状況について

「むつ湾漁業振興会会員より」

1. 上磯地区で成貝のへい死が見られる。
2. 半成貝の成長は例年並み、ウロは大きいので今後の成長に期待したい。
3. 半成貝へい死については、個人差があり全体像は見えないが西湾一〇二割、東湾では若干。
4. 半成貝の付着物はほとんどない。

〔加工業者より〕

1. アメリカ・EU向け輸出は価格的に非常に厳しい。また、干貝柱も同様。
2. 半成貝については、製品サイズアソートに注目している。細かいサイズ（一五〇／二〇〇）が多い場合は売りづらく、原貝価格にも影響がある。
3. 中国産の輸入動向が気になる。輸入増がありうる。
4. 缶詰については、むつ湾産ほたて貝にこだわっている。最後に、三津谷むつ湾漁業振興会長より、更に良質ほたて貝供給に努める事を宣言、また、加工業者に対し一層の協力を要請し閉会した。



挨拶を述べる三津谷会長

将来のハマ（漁協）のために！

漁協合併推進状況

漁業を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。しかし、漁協経営も同様に逼迫している状況下におかれています。

漁協合併推進については、漁協の現状把握と今後の展望を検討するための、漁協合併研究会設立を早急に行うこととを先決とし、研究会が設立された地区については、合併推進協議会移行に向けて諸会議を進めているところであります。

全国では、一九九七年度末で一、八八九の漁協がありました。二〇〇三年度から二〇〇四年度にかけて一七六漁協が参加し、五十の新たな漁協が誕生しております。二〇〇五年四月一日現在での全国の漁協数は一、四四四漁協となつております。このように全国では漁協合併の気運の高まりとともに合併漁協がどんどん誕生している現状です。

本県は、複数自立漁協を目指し、現在五十八漁協（沿海漁協・業種別漁協）を十五の枠組みでまとめる構想で、平成十年に漁協合併基本計画が策定され、十九年度末の合併促進法の期限切れまでに完遂できるよう推進しております。

昨年は、研究会が四地区（参加漁協十七漁協）で設立されました。

また、平成十七年に入ってからは、一月二十六日に野辺地町漁協と横浜町漁協による漁協合併研究会が設立されました。研究会長に



野辺地町・横浜町2漁協合併研究会
設立総会風景

研究会設立日	参加漁協名	漁協数
平成十六年四月三十日	大間越・岩崎・幡作・深浦・風合瀬・大ヶ沢	八漁協
平成十六年九月二十七日	戸瀬・赤石水産・鰯	
平成十六年十月八日	むつ市・川内町・脇	
平成十六年十月二十七日	三厩・竜飛・今別町	
平成十六年十一月二日	野沢村	
平成十六年十一月三日	東部・今別町西部	
平成十六年十一月四日	平館村・蟹田町	
平成十六年十一月五日	二漁協	

認定漁協については、全国で一一四漁協（平成十七年四月一日現在）が認定され、本県では平成十六年十月四日に平内町漁協が認定されています。

認定漁協制度は、水産基本法の基本理念である「水産物の安定供給」「水産業の健全な発展などの実現のため、資源管理、担い手の育成などの水産業の新たな課題を担うことのできる基盤を備えた漁協」を育成することを目的に平成十三年度に設けられた制度で、一定の組織規模・財務基盤・地域規模を有することが条件となります。しかし、認定漁協に対し重点的・集中的な支援策をとっています。平成十六年度からは認定漁協のみしか施設整備を受けられない新たな支援事業が予算化されるなど、合併を促す動きがみられます。

この「認定漁協」制度の期限は平成十七年度末となつており、期限が残り少ないとから、合併による組織・経営基盤の強固な漁協づくりを通し、「認定漁協」への取組みを急がなければなりません。

漁協合併は行政や系統団体からの押し付けで合併するものではありません。漁協の現状を把握し、「将来のハマ（漁協）のために」取り組まなければなりません。

平成十六年度 青森県漁協系統購買担当者研修会開催

去る二月十八日、青森市アラスカ会館において、青森県漁連主催の平成十六年度青森県漁協系統購買担当者研修会を開催した。

始めに、県漁連の川口業務部長が主催者挨拶、続いて、全漁連東北支所の草次長が来賓挨拶を述べ、業界及び系統団体の担当者から研修内容について説明を行った。

この研修会は、購買事業の業務に必要な商品知識を習得するとともに、購買担当者相互の交流を深め、系統購買の推進発展を図ることを目的に実施した。

研修内容は次のとおり。

- 一、最近の石油情勢並びに石油実務の基礎知識について
- 二、バッテリーの基礎知識並びにJFバッテリーについて
- 三、青色発光ダイオード集魚灯について

- 四、モバイル放送について
- 五、酸素水について
- 六、沿岸漁業推進資金「漁業用資材等購入関連」の概要について



挨拶を述べる川口部長

- 七、漁船機関等有料メンテナンス事業について
 八、購買事業の推進等について
 (二) 石油購買事業の推進等について
 (三) 漁協購買事業の現状について



挨拶を述べる草次長



研修会参加者

浜の情報・話題

青森県のホタテ情報発信拠点

『ほたて広場』オープン(平内町土屋地区)

陸奥湾の味覚を直売

県内の魚貝類や農水産物を販売、宣伝するための施設「ほたて広場」が4月16日、平内町土屋鍵懸の国道四号沿いにオープンした。

建物は二階建てで、一階はホタテ活貝、活魚、鮮魚、野菜などの販売スペースのほか、ほたての貝焼きや日本で初めてのホタテのエキスが入ったホタテソフトクリームも販売している。二階は、ホタテ養殖施設の模型や、養殖の歴史を書いたパネルなどの展示コーナーになっている。

運営は県漁連、平内町漁協、県ほたて流通振興協会、県ほたて漁業振興基金の四団体で組織する「ほたて広場運営協議会」（会長：植村正治 J F 青森漁連会長）が行う。

オープン初日の16日は、ホタテ貝焼きや紅白餅が無料で配られ、県内外から多くの来場者でにぎわった。

青森県のホタテ水揚げ量は、平成16年が10万2,524トンで北海道に次いで全国二位。このうち、平内町は4万9,099トンと半数を占めている。平内町はこれまでホタテ養殖の歴史を紹介したり、ホタテ養殖体験ツアーを開きホタテ養殖日本一をPRしており、「ほたて広場」は青森ホタテの新しい情報発信基地を目指す。



ほたて貝焼きの無料配付



新鮮なホタテ貝などの販売

浜の情報・話題

県内漁協組合長改選報告

(平成17年4月末現在)



今別町東部漁協 田中勝英 新組合長

6月18日「ホタテの日」 記念行事の開催

本県の最重要魚種である青森ホタテのPRと消費拡大をより一層促進するために、青森県漁業協同組合連合会とむつ湾漁業振興会では平成11年度に毎年6月18日を「ホタテの日」と制定致しました。

これを記念して、今年も6月18日(土)平内町土屋地区の「ほたて広場」において記念イベントが開催されます。プレゼントや楽しい企画をご用意しておりますので、皆さんお誘いの上多数おいで下さい。

【問い合わせ先】

青森市安方一丁目1番32号

電話 017(722)4218

青森県漁連・指導課内(むつ湾漁業振興会事務局)

青森県漁連 人事異動

1. 昇進・異動（4月1日付）

新 任		氏 名	前 任
総務部	部長 総務課課長兼務	小出 政明	総務部次長 総務課課長兼務
	総務課課長代理	木村 秀樹	指導部指導課課長代理
	経理・債権管理課課長代理	林 浩一	総務部経理・債権管理課係長
	経営改善室室長代理兼務		経営改善室係長兼務
	経理・債権管理課課長代理	柴田 直光	総務部経理・債権管理課係長
	経営改善室室長代理兼務		経営改善室係長兼務
指導部	総務部総務課主任	吉田 美香子	総務部総務課 経理・債権管理課兼務
	経理・債権管理課主任兼務		
	指導課課長代理	松谷 誠	総務部総務課課長代理
	指導課課長代理 (基金協会より出向)	小田桐 博司	指導部指導課係長 (基金協会より出向)
業務部	(社)青森県水産振興会・ 青森県漁業環境保全振興協会・ 青森県小型いか釣漁業協議会・ 青森県魚市場協会・事務局長 共販所担当	白戸 文昭	業務部次長 購買課課長兼務
	(社)青森県漁協経営安定対策協会常務理事 青森県漁協合併推進本部事務局長	葛西 光信	指導部部長
	次長 ほたて課課長兼務	三津谷 武志	業務部ほたて課課長
	購買課課長	高橋 光雄	業務部購買課課長代理
事業部	購買課課長代理	船橋 浩	業務部購買課係長
	購買課係長	三津谷 良太	業務部購買課主任
	購買課主任	山内 康世	業務部販売課主任
	購買課	須藤 育	業務部販売課 (現地駐在: 小泊)
	販売課課長待遇	白取 仁	事業部製氷冷凍加工場課課長
	販売課課長代理	上坂 幸雄	業務部購買課課長代理
	販売課 (現地駐在: 小泊)	佐藤 良則	業務販売課 (現地駐在: 下前)
	販売課 (現地駐在: 下前)	竹田 一茂	業務販売課 (現地駐在: 三厩)
	販売課 (現地駐在: 三厩)	天内 一成	業務部販売課
	販売課	藤井 正幸	事業部流通課
	ほたて課課長代理	田中 和芳	業務部販売課課長代理
	平内加工場工場長	柴田 福徳	事業部平内加工場課長代理

2. 採用

(1) 臨時職員（4月1日付）

新 任		氏 名	摘要
総務部	総務課	豊嶋 かおり	(継続雇用)
	総務課	小川 諭美	(継続雇用)
	経理・債権管理課	後藤 夏美	(継続雇用)
	経理・債権管理課	葛西 香名子	(継続雇用)
指導部	指導課	長岐 文祐子	(継続雇用)
事業部	製氷冷凍加工場課	工藤 健一	(継続雇用)
	流通課	木村 葉月	(継続雇用)
	流通課	佐藤 可奈子	(継続雇用)

(2) 臨時職員（4月11日付）

新 任		氏 名	摘要
業務部	販売課	太田 淳子	臨時職員新規採用

(3) 嘱託職員（4月1日付）

新 任		氏 名	摘要
事業部	平内加工場	太田 恒治	(継続雇用)
	製氷冷凍加工場課 (加工担当)	木村 吉広	(継続雇用)

3. 退職（3月31日付）

指導部	佐藤 義弘	(願いにより)
-----	-------	---------

水産に関する主な動き（平成17年1月～3月）

1月	事項	場所
6日(火)	本会仕事始め	青森市
7日(水)	平成17年ほたて関係者新年会	青森市
13日(木)	第45回青森県漁村青壮年女性団体活動実績発表大会	青森市
13日(木)	第16回青森県水産賞授与式	青森市
14日(金)	青森県水産業改良普及会通常総会	青森市
18日(火)	青森県栽培漁業推進協議会	青森市
19日(水)	コンブ・ホタテのIQに関する関係漁連会議	東京都
19日(水)	平館村、蟹田町漁協合併研究会	蟹田町
20日(木)	海面養殖高度化事業地域座談会	平館町
22日(土)～23日(日)	青森県産ホタテ貝キャンペーン	東京都
25日(火)	むつ湾漁業青色申告会連合会税務担当者研修会	青森市
26日(水)	海面養殖高度化事業地域座談会	蟹田町
26日(水)	野辺地町、横浜町漁協合併研究会設立総会	野辺町
28日(金)	青森県多元的資源管理型漁業促進協議会	青森市
29日(土)	海の味覚「グルっと大漁西海岸」	弘前市

2月	事項	場所
9日(水)	海面養殖高度化事業地域座談会	青森市
14日(月)～15日(火)	北海道とのほたて漁業に関する情報交換会	青森市
16日(水)	むつ湾地区漁業者協議会	青森市
17日(木)	JFグループ総務担当部課長会議及び人権問題啓発研修会	東京都
17日(木)	資源回復制度普及啓発講習会	東京都
18日(金)	「漁協系統における個人情報保護法」に関する説明会	青森市
18日(金)	漁協購買担当者研修会	青森市
21日(月)～22日(火)	太平洋北区資源管理型漁業ブロック情報交換会連絡会議	青森市
23日(水)	太平洋地区漁業者協議会	むつ市
24日(木)	攻めの農林水産業水産本部会議	森町
24日(木)	青森県定置漁業協会通常総会	森町
25日(金)	青森県新海洋法対策協議会総会	青森市
25日(金)	青森県食の安全・安心対策本部会議	青森市
28日(月)	日本海地区漁業者協議会	鰹ヶ沢町

3月	事項	場所
1日(火)	JFマリンバンク青森県本部委員会・幹事会	青森市
1日(火)	ほたて関係組合全体協議会	青森市
2日(水)	コンブ・ホタテ関係漁連会議	東京都
3日(木)	全漁連系販売事業強化推進委員会	東京都
4日(金)	漁協ほたて担当職員研修会	青森市
7日(月)～8日(火)	第10回全国青年・女性漁業者交流大会	東京都
14日(月)	ほたて養殖資材等に係る協議会	青森市
16日(水)	ホタテガイ天然採苗調査に関する協議会	青森市
16日(水)	ホタテ加工業者とのほたて貝販売懇談会	青森市
17日(木)	今別町、三厩村地区4漁協合併研究会	青森市
17日(木)	岩手県漁連・合併に係る意見交換会	三厩村
18日(金)	漁協とのほたて養殖資材等に係る協議会	岩手県
18日(金)～20日(日)	青森県沿岸漁業振興協会魚価動向調査	青森市
22日(火)	青森県漁業者協議会	宮城県
23日(水)	鰹ヶ沢町、深浦町、岩崎村地区8漁協合併研究会	鰹ヶ沢町
24日(木)	海面養殖高度化事業地域推進協議会	青森市
24日(木)	青森県魅力ある魚礁漁場再生検討委員会	青森市
25日(金)	むつ市・川内町・脇野沢村3漁協合併研究会	むつ市

県内漁協職員紹介

舩作漁協 風合瀬漁協

深浦町は、本県西海岸の南、世界遺産・白神山地のふもとに位置し、今年3月31日、旧深浦町と旧岩崎村が合併し新深浦町が誕生。人口は11,799人、漁業と農林業の町です。

今回の紹介する「舩作漁協」の近くには、夕陽の見える露天風呂で有名な「不老不死温泉」、また、「風合瀬漁協」は道の駅「かそせいか焼き村」を経営しております。

今回は、「舩作漁協」と「風合瀬漁協」の両漁協の職員をご紹介致します。



日本海に沈む夕陽



不老不死温泉の露天風呂



道の駅「かそせいか焼き村」

舩作漁協

風合瀬漁協



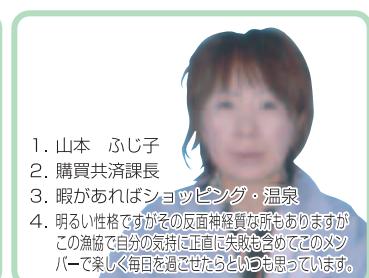
- 1. 氏名
- 2. 担当業務
- 3. 趣味・特技
- 4. 自己PR



- 1. 島川 久
- 2. 業務全般
- 3. パチンコ
- 4. なし



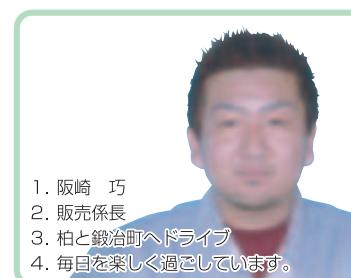
- 1. 川村 幸洋
- 2. 総務課長
- 3. 吉宗・くろそいに餌をあげること
- 4. 大声を上げて仕事をする。
最近ちょっと気が短くなった。



- 1. 山本 ふじ子
- 2. 購買共済課長
- 3. 暇があればショッピング・温泉
- 4. 明るい性格ですがその反面骨太な所もありますがこの漁協で自分の気持ちに正直に失敗も含めてこのメンバーで楽しく毎日を過ごせたらといつも思っています。



- 1. 黄金崎 肇
- 2. 業務全般
- 3. よそ様の犬を手なぐける事
- 4. 体脂肪率は低いはず。
小学生より100m走は速いはず。
得意技はギックリ腰。



- 1. 阪崎 巧
- 2. 販売係長
- 3. 柏と鍛冶町へドライブ
- 4. 毎日を楽しく過ごしています。



- 1. 古川 一行
- 2. いか焼き店店長
- 3. 読書・音楽鑑賞・麻雀・パチンコ・野球好き
- 4. 明るい接客をモットーに、真面目に頑張ります。

今回から編集後記を掲載することとなりました。今回掲載した表紙は、平内町の「ほたの里」で広場、「いしかりホタテソフトクリエイション」、いから焼きなど販売しております。最終面には、深浦町の「いから焼き」、いから焼きなどを販売しております。共に魚貝類や、地場産品の宣伝販売による漁家の所得向上を図るために、地域産業の振興のため、漁協が運営しております。今後も多くの来場者をお待ちしておりますので、皆さまで見て下さり、お見足りなさい。

編集後記



- 1. 山本 祐樹
- 2. 販売係
- 3. ドライブ・車の改造・洗車・パソコン
- 4. 元気で楽しく仕事を頑張ります。